

# ノウルシ

*Euphorbia adenochlora* Morren et Dence.

## トウダイグサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

準絶滅危惧

### 選定理由

県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

### 形態

多年生草本。茎は太く高さ30~60cm。茎頂に5枚の葉を散状につけ、その腋から出た5本の散形枝に杯状花序をつける。花序の下部の苞葉は花時にあざやかな黄色を呈し、遠くから見ると花卉のように見えて目立つ。タカトウダイよりは杯状花序がひと回り大きく、果実のいぼ状突起が鋭い。

### 国内分布

北海道~九州。

### 県内分布

外浦区、内浦区、中能登区、南加賀区。

### 生態など

花期は4~5月。地下茎は肥厚して長く伸び、二又分枝を繰り返して、その先端から毎年新芽を生じる。「野に生えるウルシ」という意味で、この草の乳液でかぶれることがある。生育地は湿地に限られ、乾燥するとなくなる。

### 生育環境

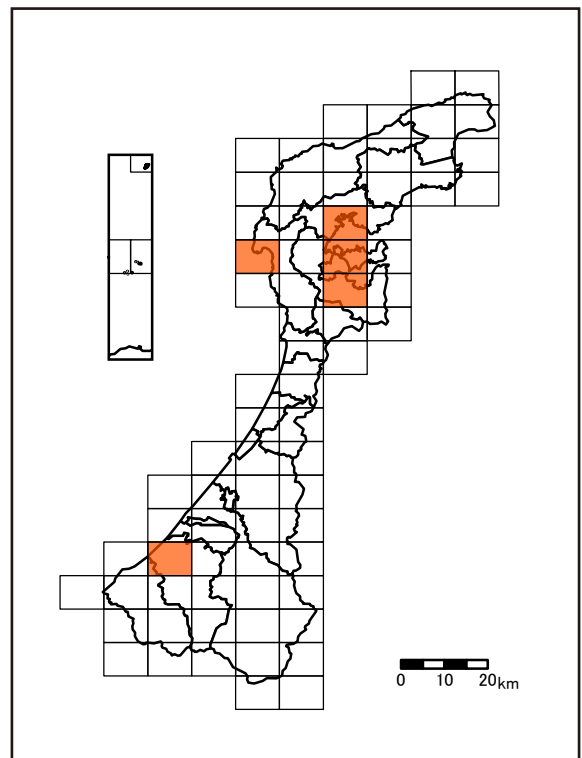
河川敷や田の畦、海岸付近の湿地。

### 危険要因

河川開発、海岸開発、自然遷移、産地局限、その他(波浪)。



本多郁夫・2008年4月19日・南加賀



県内の分布